



水は地球の命 2005年8月1日 26
 SWA 須坂水の会 EN21 地球環境ネットワーク 21
 CEC こどもエコクラブ水探検隊 信州めだか連絡会
 〒382-0076 須坂市馬場町 1122-12 小林紀雄事務所
 TEL(FAX)026-245-5793 E-mail lin15@valley.ne.jp
<http://www.info-g.co.jp/mizunokai/index.shtml>

8月例会

中国内モンゴル自治区視察報告会

日時 17日(水)午後6時 須高建労会館

8月水探検

プラザの森探検 生活クラブ事業協力
 2日(火)10:00 リフレッシュプラザP 集合
 原則 毎土日曜日 9:00~12:00 現地集合
 須坂インター流通産業団地緑地ピオトープ造りです。

温暖化防止 英国サミット 7日開幕

2012年のオリンピックがロンドンに決定された翌日の英国サミット開催の日、ロンドンの各地で爆破テロが行われ多数の死傷者がでている。アルカイダ系の組織が犯行声明を出し、イラクでの報復だと言明している。

英国スコットランド・グレンイーグルズで開催されているG8は国際経済と温暖化防止対策をテーマとしている。温暖化防止では温室効果ガスが急増している中国やインドなどの新興経済国との協調で合意のみとうしである。対策では主要国G8から省エネ技術の移転、新興国もエネルギーの効率的利用の努力をすることで、新たな数値目標は盛り込まないようである。

地球温暖化と途上国 化石燃料の大量消費などで大気中の二酸化炭素など温室効果ガスの濃度が高まり、地球の平均気温は過去100年間で0.6度前後上昇、温度上昇は今後も続き、社会や経済への悪影響が懸念されている。今年2月に発効した京都議定書は先進国全体で温室効果ガス排出を2008年から12年間に、1990年に比べて約5%減らすよう義務付けた。しかし、中国などの発展途上国は、排出が急増しているにもかかわらず削減義務を負っておらず、排出抑制を胴進めるかが大きな課題となっている。

地球環境をまもること！！

戦争は最悪の環境破壊である！！
 平和とは紛争や戦争がないこと！！
 貧困や飢餓がないこと！！

水と緑の基金 一口千円です。

黄砂の中国内モンゴル自治区での緑化事業に！
 インター須坂流通産業団地緑地ピオトープ事業に！
 加入者負担振込用紙をお願いします。
 口座 郵便局 0580-0-57844 加入者負担
 水と緑の基金 代表 小林紀雄

温暖化で自然災害増加

日本の損害額年4兆円に
 英国の保険業協会2080年まで予測
 信濃毎日新聞 7月17日

地球温暖化が現在のペースで進むと先進国では暴風雨による被害が拡大する可能性があるとの予測を英国の保険業協会がまとめた。

温暖化による気候変動がもたらす経済的損失を分析した数少ない研究の結果で、温室効果ガスが増え続けると、自然災害で経済や社会は大混乱すると警告。温室効果ガス排出削減に努めるよう各国政府に求めた。同研究チームは温暖化で各地の気候がどう変わるかを予測した結果と、過去のデータに基づき自然災害と社会的損害を予測する計算式とを組み合わせ、温暖化がもたらす自然災害で2080年までに発生しうる損害額を計算した。

その結果、日本では台風による損害額が最も大きい年で約3兆8千億円に達する可能性があることが分かった。これは保険金が支払われた損害額の過去最大だった2004年の2倍余りに相当する。米国ではハリケーン被害額は最大で約16兆8千億円、欧州では暴風災害で約4兆5百億円に上るとの予測結果が出た。

地球温暖化と自然災害 温暖化が進むと雨の多い地方では降雨量が多くなり、少ない地域では旱魃が進む。

会発行 CD 500円

地球温暖化防止のための講演会報告書

美しい草原・美しい内モンゴルの旅
 2000年4月~05年3月活動記録
 2004年今須坂の自然 河川 魚類

7月事業活動報告

- 生活クラブ町づくり委員会自然観察会打ち合わせ
 5日(火)13:00 クラブ集会所 小林
- 流通産業団地緑地水調査 7日(木)9:00 PH 5.99
 上野親子 小林 田村
- 灰野川しもがわら橋 9日(土)9:00
 小林 田村夫妻 竹田 上野 監物
 PH 7.13 電気伝導率 0.021s/m 水温 18.1°
 生物 ザザムシ・ヒゲナガトビケラ
 ヤゴ・オニヤンマ カジカ稚魚
- 中国内モンゴル視察 13~17日 小林会長
 14日、フフホト市人民政府対外友好協会にて
 外事科長 李公革氏 次長 ト海霞氏より
 内モンゴルの砂漠化と緑化事業について聞く、
 両氏とも来日の経験あり日本語で話げできた。
- 例会 20日(水)18:00 小林 田子
- 小串慰霊祭 24日(日) 駅より約35km 1時間20分
 全員約50名 会より小林 田子 田村 小山
- 新潟メダカ視察 31日(日) 小林 田子 田村 永井

須坂上高井地方の鉱山の概要

田子昭治

7 高井鉱山 松川 樋沢川

採鉱地 上高井郡高井村牧樋沢川上流

閻魔橋左岸南東

鉱種 褐鉄鉱 採鉱者 東亜鉱業(株)

社長土屋雅彦(大谷町)~佐々木秀夫(北原町)

採鉱期間 昭和18年~昭和32年閉山

鉱業権 昭和32年3月30日消滅

索道 架設 元山~千本松9km

特記事項

露天堀・最盛期従業員50名位(現場事務所合計)

昭和27年洪水のため死者6名の犠牲者発生

8 豊丘鉱山 百々川 灰野川

採鉱地 上高井郡豊丘村

灰野川上流土鍋山麓

鉱種 鉄・硫化鉄・硫黄鉱

採鉱者 三菱金属(株)

硫黄採掘要請が塩野村の反対で中止

昭和鉱業(株)

昭和16年、硫黄採掘要請が塩野村の反対で中止

鉱業権 昭和46年10月27日消滅

特記事項 寛政5年灰野村より硫黄採掘要請が塩野村の反対で中止

9 試掘地 豊丘鉱山隣接地

百々川 灰野川源流

採鉱地 上高井郡豊丘村土鍋山麓

灰野川源流 硫黄沢附近

鉱種 硫黄鉱 採鉱者 不明

採鉱期間 不明

10 米子硫黄鉱山 百々川 米子川 源流

採鉱地 上高井郡仁礼村米子

米子川源流 米子山麓 標高 1,411m

鉱種 硫黄鉱

採鉱者 寛永7年頃(1630年)

近江の住人 治兵衛が採掘を請負

採鉱期間 享保5年(1720年頃)竹前権兵衛

採鉱者詳細 別紙

明治以降 経営者 竹前源治郎 米子硫黄(株)

小林貞助 藤森弥作 遠藤万作 上信硫黄(株)

竹前幸吉 須坂硫黄(株) (株)大倉組 日野忠貞

竹前深平 船越栄造 中北福松 米子硫黄(株)

石原長次(蝶野幸吉)竹前深平 信濃硫黄(株)

採鉱者 中外硫黄(株)採鉱

期間昭和9年~昭和34年閉山

鉱業権 昭和45年10月26日消滅

索道架設

明治31年 御花畑~硯原ハリジー式索道

明治37年 硯原~上米子

昭和18年 元山~硯原~亀倉

~須坂町南横町河東線(元高水社隣)

玉村式索道 全長14,344m 支柱117基

特記事項

- ・和銅6年(713)続日本紀に「信濃の国をして石硫黄を献ぜしむ」と書かれており、米子の鷹の目は古くから知られていた。
- ・享保2年(1717)吉宗の命により、竹前権兵衛が幕府に献上している。
- ・万延元年(1860)竹前源治郎幕府に献上する。
- ・明治7年(1874)官有地となり、明治19年拝借願いにより民有地となる。
- ・明治29年(1896)豪雨により鉱業施設大半流失し、死傷者も多数でる。
- ・明治30年(1897)従業員120人運搬牛40頭であった。
- ・明治31年(1898)爆発により50日間燃え続ける。
- ・明治35年(1902)この頃、経営難で1年間休業する。
- ・明治44年(1911)落磐事故で18名死亡する。
- ・大正9年(1920)集落火災のために、ほぼ全焼し、12年閉業する。
- ・昭和21年(1946)須坂町河東線の索道終点の倉庫に保管中のダイナマイトが爆発し死亡者8名発生する。

澄んだ空・豊かな緑・清き水・田舎風

会計年度は4月1日より翌年3月末日です。

須坂水の会会員募集 会費+障害保険(550円)

会費 年3,000円(1家族) 保険 各自

会費等の納入は 下記をお願いします。

日本郵政公社 記号11150 番号34914331

須坂水の会 会長 小林紀雄

水と緑の基金

口座 郵便局 0580-0-57844 加入者負担